

シンポジウム

御嶽山の価値と未来 ～国立・国定公園に向けて～

長野県と岐阜県にまたがる御嶽山は、古くから信仰を集めた霊山として知られ、日本有数の火山であり、高山植物やライチョウが生息するすぐれた自然環境の価値を持っています。

本シンポジウムは、地域の皆さまと御嶽山の価値を見つめ直し、保護と利用のあり方を考え、国立・国定公園化の実現を目指すキックオフのイベントです。

2022 年 6/18(土)
13:00～16:00
(12:30 開場・受付)

場所：木曽町立開田中学校体育館
(長野県木曽町開田高原西野 841)

事前申込み不要・参加費無料

※新型コロナウイルスの状況によっては、シンポジウムの内容を一部変更させていただく場合があります。
シンポジウムの参加には、必ずマスクを着用のうえソーシャルディスタンスを確保してください。



主催：木曽町、王滝村、公益財団法人 日本自然保護協会
後援：長野県、岐阜県、高山市、下呂市
木曽町教育委員会、環境省 信越自然環境事務所

基調講演

中山 郁氏「日本の山岳信仰と御嶽の宗教文化」



なかやま かおる 皇學館大学教授（宗教学）

昭和 42 年東京に誕生。
國學院大學大学院博士課程後期満期退学 博士（宗教学）。
著書に『修験と神道のあいだー木曾御嶽信仰の近世・近代』（弘文堂 2007）、共著に『木曾のおんたけさん その歴史と信仰』（岩田書院、2009）がある。また、栃木県護国神社権禰宜でもある。

パネルディスカッション

「御嶽山の国立・国定公園への昇格に向けて」

コーディネイト 大野 正人（日本自然保護協会 保護・教育部長）

話題提供

「国立・国定公園の今後の役割と発展」

熊倉 基之（環境省自然環境局国立公園課長）

「木曽町開田高原における保全活動の取組み」

稲垣 康（木曽町環境協議会住民運動部会長）

「御嶽山の価値と自然保護の課題」

小野木 三郎（飛騨高山ふるさとを歩こう会会長）

ディスカッション

お問い合わせ先

木曽町企画財政課

日本自然保護協会

TEL：0264-22-4287

保護・教育部 hogo@nacsj.or.jp